

## 宇都宮市立海道小学校 第4学年児童質問紙調査

### ★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題

- 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」、「家で、テストでまちがえた問題について勉強している」の肯定的回答は79.3%、72.4%で、県平均を12.9ポイント、10ポイント上回る。引き続き、家庭学習のやり方を指導しながら寄り添いかけるとともに、工夫して学習している児童、成果の見られる児童を称賛するなどして、家庭学習をさらに定着させる。
- 「食事のとき、すききらいしないで食べている」、「家の人は、あなたがほめてもらいたいことをほめてくれる」の肯定的回答は82.8%、93.1%で、県平均を6.1ポイント、6.4ポイント上回る。家庭での食育、認め育てる教育の成果が表れている。
- 「算数が好きですか」、「算数のじゅ業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートを書いている」の肯定的回答は83.1%、86.2%で、県平均を15.1ポイント、8.5ポイント上回る。引き続き、算数でのT.Tによる授業、少人数に一人一人に応じた支援をするとともに、「わかる」、「できるようになり楽しい」と思える授業を行っていく。
- 「学校の宿題は、やりたくなる内ようだ」の肯定的回答の割合は41.4%で、県平均を26.3ポイント下回る。宿題は、学力定着に必要なものであるとともに、家庭学習の習慣化にも大切なものであることを伝え、意欲的に取り組ませる。発展的な問題も、段階を踏んで解けるよう指導の手立てを工夫し、達成感を味わわせるようにする。
- 「じゅ業を集中して受けている」、「友だちと話し合うとき、友だちの話や意見をさい後まで聞くことができる」の割合は、どちらも75.9%で、県平均を12.6ポイント、15.0ポイント下回る。授業の組み立てや学習活動の時間配りなど、学習のきまりを徹底させていくようにする。
- 社会と理科の「教科などの学習は好きですか」の肯定的回答の割合は58.6%、75.9%で、県平均を10.4ポイント下回る。興味・関心をもたせるような教材の開発、わかった、できたという達成感を味わえるような授業の工夫を続ける。

が見られるもの  
回答の割合は  
家庭学習を呼  
ばせていく。  
肯定的回答の割  
合が見られる。  
その割合は9  
による授業で

目に出す内容  
をさせるようにす

肯定的回答  
間配分を工夫

イント, 11. 4  
夫をしてい